

横浜マラソン救護活動  
(神奈川県救護赤十字奉仕団・神奈川県無線救急赤十字奉仕団)

テレビ中継などで ご覧になった方も多い事と思いますが、3月15日（日）に横浜マラソンが開催されました。



横浜マラソンは1981年から開催されていますが、今年から市民参加型のフルマラソン大会として生まれ変わり、みなとみらい地区、県庁、山下公園、三溪園、横浜南部市場、首都高速道路、横浜シンボルタワーなど横浜を代表する名所を約2万5千人の健脚人が走り抜けました。

県救護赤十字奉仕団は、毎年大会の救護所にてランナーや応援者の応急救護活動に携わっていましたが、大会の規模が大きくなり、大会の連絡通信網をより確立する必要があることから県無線救急赤十字奉仕団と協働して協力しました。

2団計39人の団員が、12カ所の救護所、本部、無線中継基地に配置され、地震などの自然災害や その他緊急の場合など、主催者が準備した通信機器が使用不能になった場合に備え、赤十字業務用無線を使用した通信連絡網の体制を作りました。



幸いなことに、大事故や災害、重症の傷病者がでることもなく、バックアップ用として配置した赤十字の通信連絡網は表だった使用をするには至りませんでした。本部からの細かな指示や各救護所の状況調査などに活用され、大会本部スタッフの方々には、とても有効であったと感謝の言葉をいただきました。

また、赤十字と言う事で 救護や搬送の依頼を受けた団員もあり、充実した活動ができました。

昨年までとは 運営形態が変わり、赤十字ボランティアの活動方法も変わりましたが、今回の活動を、今後の活動や訓練にいかしていきたいと、当日の反省会では有意義な意見が出て活動を終了しました。

大会も好天に恵まれ、盛況のうちに終了し、参加ランナーからは、「また横浜で走りたい」、「補給に月餅食べたよ〜」、「給水所の応援団が楽しめました。」など、たくさんの好評の声が聞こえました。

現在、随時団員募集をしております。共に活動したい、興味が有るのだけれど... という方は 是非支部までご一報ください。

神奈川県救護赤十字奉仕団 兼田賀代子